

【基本施策】

6. 働きやすい環境を充実する

【基本方針】

公共職業安定所をはじめ、商工会議所や民間企業とも協働して広域的な就労・雇用の拡充に努めるとともに、インターンシップの充実や地域の産業の魅力を積極的に発信・PRすることで、次代を担う若者が地元産業に希望を抱けるような施策の展開を図ります。

また、働く意欲のある個人と人材を求めている企業のマッチングを図るとともに、若者の社会対応を目的とした就労カウンセリングの実施など、就職活動支援事業を多面的に展開します。

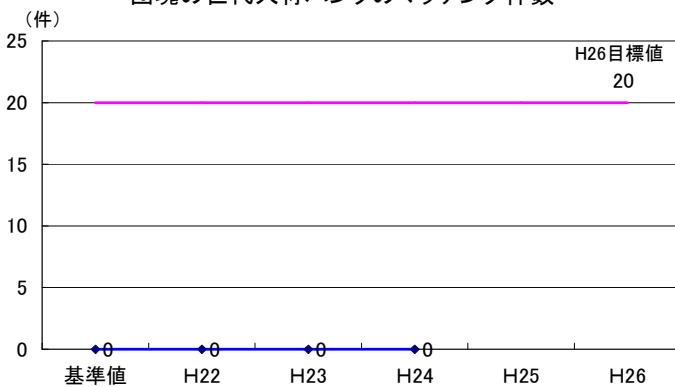
さらに、労働者が仕事と生活の調和の取れたライフスタイルを実現できるよう、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業への支援を行うとともに、高齢者の生きがいづくりや雇用対策として、シルバー人材センターの積極的な活用を推進します。

【実施施策】

- ◇雇用機会の拡充
- ◇労働力の確保
- ◇就労支援の充実

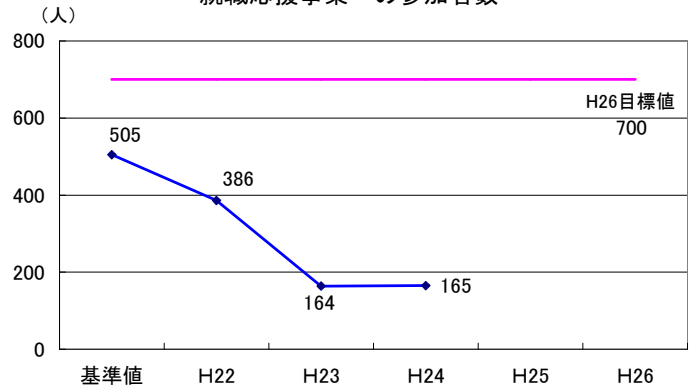
【施策成果指標】

団塊の世代人材バンクのマッチング件数



労働力の確保を図るための指標として、団塊の世代等の労働力の発掘・確保に努め、人材バンク登録システムの多面的な活用を検討しながら、マッチング件数 20 件を目指します。

就職応援事業への参加者数



就労支援の充実を図るための指標として、若年層の就職意欲の向上を図ることを目的として開催する、就職カウンセリングや就職応援セミナー等の参加者数の増加を目指します。

【構成事務事業の達成ランクおよび方向性】

基本施策	構成事務事業の状況											
	H24 ランク				H26 方向性							
	A	B	C	小計	事務改善	内容拡大	内容縮小	維持	終了	廃止休止	統合	小計
働きやすい環境を充実する	8	1	2	11	0	0	0	10	1	0	0	11
雇用機会の拡充	0	0	2	2	0	0	0	1	1	0	0	2
労働力の確保	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1
就労支援の充実	7	1	0	8	0	0	0	8	0	0	0	8

これまでの取組み成果

鯖江商工会議所に対して有能で定年後も働く意欲のある人材を登録し、企業へ紹介する「人材バンクシステム」の管理運営を委託し、企業と個人のマッチング機会の提供を行った。

人材バンクシステムは、「人を求める企業」と「職を求める人」とのマッチングを支援するシステムであり、求職者側からの求人企業情報の閲覧に加え、求人企業への人材紹介として、企業側からも人材の登録内容閲覧できる求職者側・企業者側の双方から利用できるシステムに平成 24 年度に改善した。

また、提案型市民役事業として、就職支援セミナーを開催し、エントリーシートの添削等の個人のスキルアップを図るとともに、鯖江市内のものづくり企業等の社員による企業説明（業界研究）等のきめ細かい就職支援事業を実施した。さらに、ワークライフバランス推進の一環として、育児休業者が職場復帰しやすい環境をつくるべく、代替要員確保のため補助制度による支援を行い、平成 23 年度には 1 件、24 年度には 8 件の実績を得た。

今後の課題

人材バンクシステムは、「人を求める企業」と「職を求める人」とのマッチングを支援するシステムであり、平成 24 年度に求職者側・企業者側の双方から利用できるシステムに改修したが、マッチングの実績はない。今後、システムの効果も踏まえて、事業内容を検討する必要がある。また、平成 24 年度から提案型市民役事業として実施している就職支援事業については、民間委託であるが、鯖江市（行政）が実施する事業であるので、鯖江市内の中小企業（ものづくり企業等）の情報発信に努め、若者が鯖江市に定住してくれるよう産業振興に繋がる事業展開を実施しなければならない。

平成 24 年度から改定した育児休業代替要因確保支援事業については、中小企業の職場環境整備（一般事業主行動計画策定等）等が進まず、利用できる中小企業が少ない。育児休業制度の周知について周知方法を検討していくとともに、次年度に向けて効果的な支援制度も検討していくべきである。

今後の施策展開

人材バンクシステムについては、事業廃止も含めて検討する。

また、就職支援事業については、引き続き提案型市民役事業として、民間委託し、官民協働で事業展開し、業界研究等で鯖江市内の中小企業中心に情報発信し、産業振興に繋げるとともに、さらに若者の就職支援事業を充実させる。

ワークライフバランスに関する取り組みとして実施する育児休業支援制度については、商工会議所や金融機関、会計事務所等の関係機関と連携しさらに制度の周知徹底を図るとともに、企業の職場環境整備（一般事業主行動計画策定等）等への支援も次年度に向けて検討していく。

また、ハローワークとの定期的な情報交換を行うことで、引き続き雇用対策の連携を強化する。

【総合評価】

- A 政策目標に向けて高いレベルで推移している。
- B 政策目標に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。
- C 政策目標に向けてあまり順調ではなく、一層の努力が必要である。**
- D 政策目標の達成には程遠く、全体的な努力が必要である。

〈H24 総合評価：C〉